

議会だより かどがわ

April 2022 4

No.170



西門川総合活性化センター

- ・ 令和4年度当初予算 3P
- ・ 一般質問 2人が登壇 6P
- ・ 議会構成が変わりました 9P
- ・ 門川高校生が議会傍聴10P



令和4年度当初予算

各会計とも全員賛成、可決

令和4年度当初予算は、4月に町長選挙を控えていたため、一般会計は継続費を除き、骨格予算の編成となっています。

会計	予算額(万円)	前年度当初予算比較
一般会計	803,100	2.8%減
国民健康保険事業特別会計	243,871	6.3%増
後期高齢者医療特別会計	47,460	2.0%減
介護保険事業特別会計	171,381	1.1%増
簡易水道事業特別会計	1,192	7.7%増
水道事業会計	70,621	12.3%増
予算総額	1,337,627	31万円増

各会計とも所管の常任委員会で審議し、本会議において委員会報告後、それぞれ討論、採決を行いました。(関連記事4、5頁)

【地方債残高】

令和3年度末 76億3696万1千円の見込み
 うち 28億390万6千円は臨時財政対策債で借入額の100%が交付税措置されます。
 22億7517万円は緊急防災・減災事業債で借入額の70%が交付税措置されます。

令和4年度事業からピックアップ

中須雨水ポンプ場整備

設備の分解点検および整備
 工期は令和3年度～4年度
 1カ年で、1台ずつの整備



学校給食センター建設

建築主体工事、電気設備・機械設備工事、工事監理業務、厨房機器等備品購入
 センターは2学期から稼働の予定



令和4年 第一回定例会

令和4年第一回定例会は、3月2日に開会し、18日に閉会しました。令和3年度補正予算、4年度当初予算、条例の改正・制定、発議など22件を審議しました。

3日には2人が登壇し、計3項目の一般質問を行いました。また、この日は門川高校の生徒と先生、合わせて13人が議会を傍聴しました(関連記事10、11頁)。

令和3年度3月補正予算

各会計とも全員賛成、可決

(単位:万円)

会計	補正予算額	補正後の予算額
一般会計(15号)	13,541	1,056,918
国民健康保険事業特別会計	2,493	270,323
後期高齢者医療特別会計	23	49,059
介護保険事業特別会計	971	180,765
簡易水道事業特別会計	81	1,278
水道事業会計	1,150	64,999

一般会計補正予算(歳出)の主なもの

漁港建設(県事業負担金) 1,899万円追加 財政調整基金等への積立金 47,621万円追加
 砂防事業 1,260万円追加 門川産業振興券発行 3,238万円追加
 児童措置事業(保育士・幼稚園教諭等処遇改善) 2,253万円追加
 5歳以上11歳までのコロナワクチン接種事業 462万円追加
 コロナ禍により実施できなかった事業や事業費確定分 34,193万円減額
 また、住民基本台帳ネットワークシステムなど12事業22,834万円を次年度に明許繰越しました。

令和4年第2回臨時会(2月25日開催)

一般会計補正予算13号および14号の専決処分の2件を、全員賛成で承認しました。また、議員の辞職に伴い議会の構成を変更しました(関連記事9頁)。

補正予算は、コロナ対策に関して、まん延防止等重点措置区域が県全体に拡大されたことから、飲食店等への営業時間短縮要請協力金、および売り上げ減少などの影響を受けている中小企業・小規模事業者等へ、町独自の給付金を支給するもので、合わせて8238万円追加しました。

令和4年第1回臨時会(1月18日開催)

一般会計補正予算(11号)の専決処分と同補正予算(12号)の2件を審議し、全員賛成で承認および可決しました。

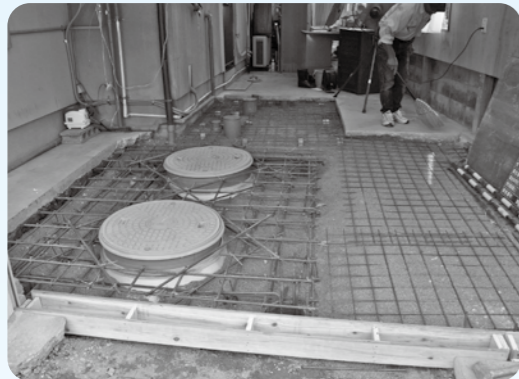
子育て世帯臨時特別給付金について、従来子ども一人当たり5万円の支給だったものを10万円にし、公平性の観点から所得要件を撤廃しました。これにより1億6511万円を追加しました。また、住民税非課税世帯等に、1世帯当たり10万円を支給する臨時特別給付金給付事業に2億7282万円を追加しました。

令和4年度当初 予算委員会審査

産業建設文教常任委員会

《 環境水道課 》

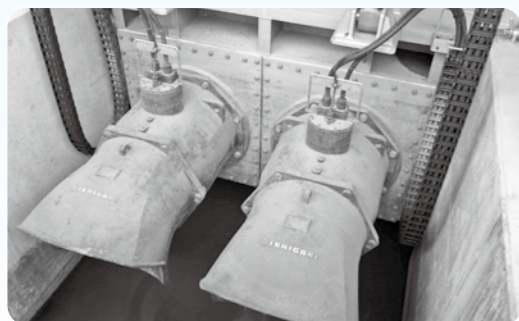
- 問 水道事業会計予算の備消耗品費について、有事対応の給水袋と給水タンクの数値は。
- 答 給水袋は6ℓが2000枚、給水タンクは500ℓサイズで6個購入する予定。応急給水栓は6基購入する予定。
- 問 門川町内の合併処理浄化槽の設置状況は全戸数の何%ぐらいか。
- 答 生活排水処理率は、令和2年度末で73%、令和3年12月末で73.9%となっている。



▲合併処理浄化槽

《 建設課 》

- 問 中須雨水ポンプ場のポンプ分解整備は一年かかるのか。
- 答 渇水期の11月～3月で整備する。
- 問 草刈り等の委託先は、固定されているのか。
- 答 シルバー人材センターとなっている。



▲雨水ポンプ

《 農林水産課・農業委員会 》

- 問 町有林看守人は看守人の都合でまわるのか、見回りの規定があるのか。
- 答 看守人3人の方に、月1回見て回ってもらい、その報告書を出してもらっている。

《 まちづくり推進課 (商工観光係) 》

- 問 広告料の月刊誌は何種類か。webの内容は。
- 答 月刊誌は「みちくさ」「タウンみやざき」、webは「いこうよ九州」。

《 教育課 (共同調理場含む) 》

- 問 図書館の修繕料の内容は。
- 答 カーペットの張替えを予定している。
- 問 歳入の共同調理場補助金、学校施設環境改善交付金は、学校給食センターの補助に充てるのか。補助割合はどのくらいか。
- 答 建設に対しての2分の1とか3分の1と少し複雑な計算で算出された割合で補助される。2カ年計画で、来年度は全体の40%の予算となる。



▲学校給食センター

総務財政厚生常任委員会

《 まちづくり推進課 》

- 問 心の杜経営改善委員会のメンバー及び審議内容と今後の計画は。
- 答 改善委員会は利用者、委託者、行政、コンサルタントで構成、人数は7人。審議内容は経費削減、入館者の増加対策を中心に検討。今年度末までに経営改善基本計画案をまとめる予定。今後3カ年をかけて結論を出していく。
- 問 ふるさと納税返礼品の地元産品開発が課題と考えるが。
- 答 返礼品の新規開拓は、委託業者が支援する仕組みを構築している。

《 税務課 》

- 問 町税が前年度に比べて増額となっている理由は。
- 答 個人町民税、法人町民税ともに伸びている。コロナ特別給付金の影響や一部製造業の活況により、増収となると推察している。

《 財政課 》

- 問 令和2年度多額の地方債(21億円余り)を借り入れているが、財政的に問題はないか。
- 答 地方債の返済額も増加するため、実質公債比率は今後、県平均程度まで上昇していくと見込まれている。

《 福祉課 》

- 問 病後児保育、その後の進展状況は。
- 答 病気中の預かり、病後児の預かり、病院での預かり等の問題があり、今後も研究を進めていきたい。



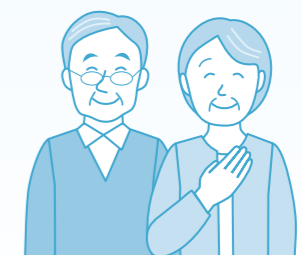
▲心の杜 源泉タンク

《 総務課 》

- 問 正職員数と会計年度任用職員数は。
- 答 令和4年1月時点で正職員149人。(条例定数は172人) 会計年度任用職員92人を雇用している。

《 健康長寿課 》

- 問 後期高齢者医療広域連合納付金減額の理由は。
- 答 本年10月から一部の被保険者の負担額が1割から2割に変更されるため、医療費の公費負担の減少が見込まれる。そのため、納付金も減額となった。





山岡 節夫 議員

国の事業等で一次避難場所整備の加速化を

町長 限りある予算、調整しながら進める

町長 国防行政無線放送が聞き取れないとの苦情がある。戸別受信機無償貸与か、防災メール配信を導入できないか。

町長 高齢者世帯や放送の聞き取りにくい世帯には戸別受信機の無償貸与を行っている。役場へ電話をいただければすぐに訪問し、30分程度で設置できる。

町長 回避場所にたどり着けないと避難を諦めている人もいます。避難通路や一次避難場所の整備状況は。

町長 一次避難場所は、地域で選定した場所を助成事業を活用し、自主防災組織で整備していただいている。一次避難場所にたどり着けないとの声には地域の「共助」の力が必要となる。来年度から地区防災計画や個別避難計画策定に向けて防災・

福祉・介護と一緒に取り組みを行っている。

町長 図裏山を切り開き、一次避難場所整備に取り組む地区と、公的施設を利用できる地区とでは整備状況に格差が見られる。裏山を整備する地区には手厚い支援を。

総務課長 自主防災組織で創意工夫して取り組んでいる。事業実施にあたっては、職員も入って方法を協議しながら進めていきたい。

町長 図国の緊急防災・減災事業債を活用し、緊急避難場所の整備加速化に取り組むべきでは。

町長 予算は有限であり、願望は無限である。そこをうまく調整して予算編成をしなければならぬ。議会でも予算の議案審議の中で提案して頂き、進めてい

ればと思っている。

町長 図私が南海トラフ地震津波到着までに避難できる可能時間を試算すると8分であった。かなりの人が避難できないのではないか。

総務課長 ささまざまな課題があると考えている。今後、自主防災組織で地区防災計画を作成していくので、その中で地区が抱える課題等を整理して、地域の防災力を高めていきたい。

町長 図テーマを与えた避難訓練を実施すべきでは。



▲地区整備の一次避難通路

町長 避難訓練でやったことしかできない。地区の訓練、自主防災組織の中での意思疎通など、日頃からのコミュニケーションが大事になる。

総務課長 地区防災計画の中で検討していく。

町長 図高台に広いスペースを持つ高速道路や家畜市場関係と避難協定を結ぶ考えはないか。

総務課長 現在もいくつかの企業と災害協定は結んでいる。車避難も想定して、今後は結んでいく。

町長 図一次避難場所での避難生活ができる住環境整備や食料備蓄を進めるべきでは。

副町長 昔から備えあれば憂いなし、平時の備えが大切である。地域の方議員の皆さんと相談しながらしっかりと対応していきたい。



▲公的整備の緊急避難通路

町長 避難者全ての収容は難しい。日向東臼杵郡市町村間での災害相互支援協定や、県を通じての広域避難の必要がある。県内の沿岸自治体でも避難所が不足しており、九州全体で広域避難を受けることになると考えている。

水永 正継 議員

5年、10年後の門川の稲作農業は

町長 水田の機能を損なわない高収益作物の導入

町長 図門川町全体の農家数と稲作農家数の推移は。

町長 町の農家総数は、平成27年度391戸から令和2年度307戸に減少、うち稲作農家数は172戸から101戸に減少。

町長 図現在の稲作耕地と耕作放棄地の面積は。

町長 稲作耕地は、148ヘクタール、耕作放棄地は、20ヘクタール。

町長 図稲作農家の問題点は。

町長 米価の低迷や高齢化に伴う農業従事者の減少、後継者を含む担い手不足。

町長 図本町の稲作農家の今後の見通しは。

町長 米の需要の減退による米価の低迷や稲作農



▲小松の田園風景

町長 図県内の幾つの自治体で「発達障がい地域支

援体制会議」が稼働しているか。

町長 「宮崎県発達障害者支援センター」が推進し、各市町村の発達障がい児・者に係る関係者と連携し、地域の支援体制を構築するため取組の一つで、現時点では、日南市や日向市で、関係者が課題について意見を出し合い協議する段階。本格的な稼働はこれからという状況。

町長 図発達障がい児の受け入れ態勢は。

町長 保育所では、配慮の必要な子どものクラスへ保育士の加配や、専門家のアドバイスを受けている。

町長 小・中学校では、児童・生徒の実態把握や関係者での協議後、保護者の意向に沿う形で、通常学級か特別支援学級かの判断を行っている。

町長 さらに、「特別支援教育支援員」を各学校へ配置し、きめ細やかな支援を行っている。

町長 図発達障がい児・者への支援体制は。

町長 乳幼児健診を実施し、医師の診断結果に応じ、医療機関・児童発達支援センター・ことばの教室等の紹介を行っている。

町長 図発達障がい者の親の会と町との連携は。

町長 障がいの特性等について、お互いに理解を深めながら、引き続き関係機関等と広域的な連携を図っていく。

町長 図「日向市・東臼杵郡障がい者自立支援協議会発達障害部会」は、障がい児・者にどのような関わっているか。

町長 課題解決の検討、他部会や地域関係者との連携、研修会の開催、事例検討会等を行い、支援者側のスキルアップ等に努めている。

町長 図町に「発達障がい地域支援体制会議」の設置はできないか。

町長 現状は、門川地区を含めた「日向市・東臼杵郡障がい者自立支援協議会発達障害部会」で事例検討等を行い、「宮崎県発達障害者支援センター」などのアドバイスや提案を受けながら、情報共有も図られている。

町長 現在の進め方を検証し、各市町村の動向も考慮しながら、判断していきたい。

議会構成が変わりました

議員の辞職を受け、2月25日開催の第2回臨時会において、議長および副議長の選挙を行い、選出しました。さらに、議会運営委員会、常任委員会、特別委員会委員の変更並びに広域連合などの議員の選挙を行いました。また、4月10日執行の議員補欠選挙に伴い、4人が加わりました。

新しい議会の構成は、各表のとおりです。

議長	岩佐祐一	副議長	森川春夫
----	------	-----	------

総務財政厚生委員	産業建設文教委員	議会運営委員会	議会広報特別委員会
◎水永正継	◎請関義人	◎出口希俊	◎森川春夫
○山岡節夫	○森誠一	○森誠一	○山岡節夫
田中豊和	永井裕司	水永正継	森誠一
宮本正信	米良格	請関義人	菊地稿治
宇都宮三良	中城資力	宇都宮三良	宇都宮三良
出口希俊	菊地稿治	森川春夫	
岩佐祐一	森川春夫		

委員会の◎は委員長、○は副委員長

日向東臼杵広域連合議員
岩佐祐一
水永正継
請関義人

県北部広域事務組合議員
森川春夫
請関義人

議長選挙結果
 岩佐議員 7票 …当選
 森議員 2票
 無効投票 1票
 副議長選挙結果
 山岡議員 5票
 森川議員 5票
 抽選により決定した。



▲総務財政厚生委員



▲産業建設文教委員

条例の改正

職員の育児休業等に関する条例の一部改正

非常勤職員の育児休業・介護休暇等の取得要件の緩和等の改正。
 取得要件の「引き続き在職した期間が一年以上」との要件を廃止し、子の看護休暇等の「6月以上勤務」の要件を「6月以上の任期または6月以上継続勤務」に緩和するとともに、取得しやすい勤務環境を整備するための措置を講じるもの。

(全員賛成・可決)

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

令和3年度の国家公務員に対する人事院勧告を受け、国は職員の給与を改定する予定であり、本町も国に準じて改定するもの。
 内容は、4年度より、期末手当の支給月数を0・15月分引き下げ、現行の4・45月を4・3月とする。3年度の引き下げに相当する額は、4年6月の期末手当から減額することで調整を行うもの。
 また、国は55歳を超える職員は原則として昇給しない抑制措置をとっていることから、国家公務員の取扱いに準じて、55歳を超え

る職員の勤務成績が標準の場合には、昇給せず、「特に良好」な場合に限り、昇給を行うものとするよう改定するもの。

(全員賛成・可決)

以下の3条例の一部改正は、特別職の国家公務員の給与の取扱いに準じて、特別職の職員の期末手当の支給割合をそれぞれ0・1月分引き下げるもの。3年度の引き下げ相当額は、4年6月の期末手当から減額調整するもの。

町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正(全員賛成・可決)

教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正(全員賛成・可決)

議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正(全員賛成・可決)

国民健康保険税条例の一部改正
 地方税法施行令の一部改正に伴い改正するもので、子育て世帯の経済的負担軽減の観点から、未就学児に係る被保険者均等割を5割軽減するもの。また、法改正に伴い関係条文の整理等を行う。

(全員賛成・可決)

条例の制定・廃止

学校給食センター設置条例の制定

本年7月末に完成予定の、この施設の設置及び管理運営に関する条例の制定。また、同施設運営開始に伴い、これまでの学校給食共同調理場設置及び管理条例を廃止する。

(全員賛成・可決)

新庁舎建設基金条例の廃止

新庁舎建設等に関する事業の完了に伴い廃止するもの。

なお、基金残額600万円は、財政調整基金に積み戻す。

(全員賛成・可決)

町道路線の認定及び廃止

民間開発された道路用地の寄付を受け、すでに認定していた区間を含めて町道認定するもの。

(全員賛成・可決)

議員発議

ロシアのウクライナ侵攻に抗議し、恒久平和を求める決議
 ロシア軍による攻撃とウクライナへの主権侵害に強く抗議するとともに、ロシア政府に武力行使の即時停止とウクライナからの完全撤退、および平和的に対応

当初予算に係る産業建設文教常任委員会報告に関する質疑

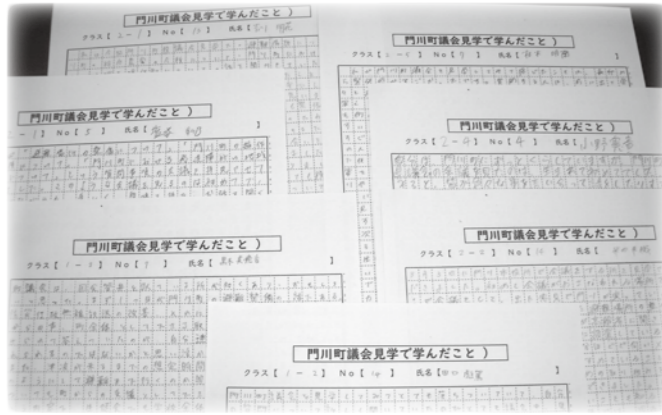
- 問 給食センターの運用が開始されるが、予算編成上変わった点とか論議されなかったか。
- 答 給食センターでは、1日1500食を作らなければならないので、調理員も増員しなければならない。
 また、配送車が1台から3台になるので、配送コストも増加する見込み。

議案「職員の育児休業等に関する条例改正について」に関する質疑

- 問 ここでいう非常勤職員はパートタイム会計年度職員、フルタイム会計年度職員のことか。
- 答 そのとおり。
- 問 配偶者出産休暇、育児参加のための休暇の新設、産前休暇および産後休暇の有給化が条例改正に記載されていないが。
- 答 規則を改正し、対応している。

することを求め、政府には、平和的な解決に向けた外交努力を行うことなどを要請する決議。

(全員賛成)



とても緊張しましたが、これまでに体験したことがない事なので、わくわくしました。門川町の今の問題やそれを改善するためには、どうしたらいいのかなど、本当に詳しく話し合いをしていて、私もこんな風に学校で活躍したいと思いました。

吉川 明花さん

自分は、門川町にずっとくらしていますが、議会の会議を見たのは、生まれて初めてでした。見てみると、皆が色々な事を言い合って話をしたりする所を見て、長かったけどとても良い話をしていたんだなと思いました。

小野 憲貴さん

私が高校で活かせるなと思ったことは、質問する人は、地域住民の意見を代表して言っていて、私達も生徒の意見を聞いていこうと思いました。最近地震が続いていて、その話の中でよく共助という言葉がたくさんでていて、避難訓練の時家での際も周りの地域住民と協力しながら避難しようと思いました。門川高校だけでなく地域の人と一緒に協力して、していこうと思いました。

桂木 明蘭さん

門川高校生が議会を傍聴しました

第1回定例会の2日目、9人の生徒が一般質問を傍聴しました。傍聴した時の感想文が寄せられましたので、その一部を抜粋して紹介します。

一つ一つの題に対して、とてもいい問いをしており、聞いていてとても勉強になりました。

とてもいいに答えるだけでなく、調べた結果をもとに話しているということがすごいと思いました。初めて見た議会はとても勉強になりました。生徒総会などで、学んだことを少しでも発揮することができたらいいと思っています。

田口 彪駕さん

町議会は、国会答弁と似ている所が多くあり、おもしろいと思った。

自分達だけで考えるのでは無く、他の人からの意見が、しっかり話し合われているのを見ていて、学校でも意見箱や定期的にアンケートを行ってみたいなのも思った。この見学で、意見ややりたい事があるなら事前にある程度自分で準備する事や具体的な例などを出す事や、全体的にやれる事を考える事、自分達だけで全体の事を決めないことが学べた。

黒木 美癒音さん

議員表彰 ～受賞おめでとうございます～



全国町村議会議長会表彰
町議会議員27年以上在職

安田 茂明 氏



全国町村議会議長会表彰
町議会議員15年以上在職

水永 正継 氏



全国町村議会議長会表彰
特別表彰者

内山田 善信 氏



宮崎県町村議会議長会表彰
町議会議員20年以上在職

神崎 千香子 氏



少し緊張しながらも、楽しく、興味を持ち、お話を聞くことができました。また、会議は難しい言葉が多く出てきて、理解が難しいところがあったりしました。門川高校に生かせることであろう事が2つ。一つ目は、避難の際には共助することです。2つ目は、門川高校の避難の課題を見つけることです。この2つを実現できたらいいと思います。

塩塚 彩乃さん

初めて会議が行われる場所を見て、ここで会議をして、出た意見で門川が変わっていているのだと思いました。会議では、瞬時に返答ができおり、自分も意見の場で質問を投げかけられたとき、答えられるようにしたいです。会議の風景を見て、生徒議会などで自分の考えを持ち、意見をしたいです。見学をして学んだことを身に付けて頑張りたいと思います。

米田 朱織さん

地域の力

ボランティア団体紹介



遠見山駐車場にて

旭ボランティア会

会長 長友 幸夫

「残りの人生、体力の続く限り、社会貢献に努めましょう」、この志に賛同した旭化成退職者で平成4年に結成、現在の会員数は27人です。年間計画を立てて、清掃ボランティア活動に取り組んでいます。時々開催する会員同士の親睦会も楽しみの一つです。

「門川町周辺の観光地を綺麗にしよう」「観光客から喜んでもらおう」を合言葉に頑張ってます。



作業風景

次回6月定例会のご案内(日程は変更になる場合がございます)

6/8(水) ～ 6/17(金)	8日(水)	(開会)議案の上程
	9・10日	一般質問
	17日(金)	議案の採決

左記の日程で開催を予定しています。日程は変更になる場合がありますので、町のホームページ等でご確認ください。

本会議の傍聴について、新型コロナウイルス感染症対策が講じられている場合には、積極的な案内はいたしませんのでご理解ください。

編集後記

三月定例会では、令和四年度当初予算が主なものでした。全議案とも全員賛成でした。それより前の一、二月に2回の臨時会を開き、主にコロナ対策の補正予算を審議しました。また、二月の臨時会では議員辞職に伴い、議会構成が変わりました。

四月の議員補欠選挙で、4人の議員が加わりました。新たな構成での平均年齢は、58.35歳で、6歳程若返ったことになります。

広報編集委員会の構成も新しくなりましたが、今までどおりわかりやすい誌面づくりを心掛けていきます。

(記:森川)

■発行者 / 門川町議会議長 岩佐 祐一

■編集 / 議会広報編集特別委員会

〒889-0625 宮崎県東臼杵郡門川町平城東1番1号 TEL:(0982)63-1140

■議会広報編集特別委員会 / 委員長 森川 春夫 副委員長 山岡 節夫

委員 宇都宮 三良 菊地 稿治 森 誠一

■印刷 / 安井株式会社